

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 14日

事業所名 ぼてと

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			引き続き、子どもたちに最善の環境を提供していきます。
	2 職員の配置数は適切である	6	4	職員が足りない際は各部署で助け合っている。	定められた人数に加えて、直接支援を行う人員を増やして、より質の高い支援に取り組んでいきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	5	バリアフリーにはなっていない。障害の特性のある児童には必ず職員がつくことで補っている。バリアフリー化はされていないが、情報共有して危険のないよう過ごしやすく考えられている。物品を置く場所がもう少しとれると良いのではないかと感じる。現在は危険のないような場所を考えなんとかおこなうことができている。	環境整備を行いながら、対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	1	課題を個室(視覚的刺激を受けにくい場所)で行いたい時もあるが個室がない。	環境調整を引き続き行います。また、個室に関しては、対応を検討していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		職員が足りない際は各部署で助け合っている。	常に改善を行えるように、意思疎通を密に行っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			引き続き、保護者のフィードバックを業務改善に役立てていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			ホームページにて公表していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2	第三者から評価を受けたことがない。	保護者が参観に来られた際にアンケートを配布して、その内容を業務改善に役立てています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			島外への研修には参加が難しい状況のため、オンラインでの研修参加に取り組んでいます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10			引き続き、保護者のニーズや困り感を把握して、計画を作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			認知機能の評価に加えて、適応行動についての評価にも取り組んでいきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			児童の発達支援はもちろん、家族支援としては必要に応じてペアレントトレーニングを引き続き実施していきます。また、長寿会や町議員などに対する啓発活動や、学校や園での困り事体験研修の実施など引き続き、取り組んでいきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			計画立案時に具体的な支援方法を決定しており、計画に沿った支援を引き続き行っていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10			質の高い支援ができるように取り組んでいきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			評価結果や園での様子を確認しながら、柔軟に必要な支援に取り組んでいきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	10			評価結果や学校での様子を確認しながら、柔軟に個別・集団での活動に取り組んでいきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	振り返りなどで児童の伝達や情報交換をしているが、職員全体の把握が薄いので確認していきたい。支援として行っている集団活動プログラムの内容、人員配置等日によってばらつきがあるが皆で話し合いながら構築している。	情報共有を常に行い、リスク管理や支援がスムーズに行えるように取り組んでいきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			情報共有を常に行い、リスク管理や支援がスムーズに行えるように取り組んでいきます。

19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			日々の結果を検証して支援を柔軟に変更できるように、職員個々の力を高める取り組みを行っていきます。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10			評価の解釈の幅を広げることができるように、職員教育を行っていきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			管理者対応で引き続き行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		無回答1	保健センターなど必要に応じて情報共有を引き続き行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	1	無回答1 保育、教育の関係機関とは連携がとれているが、医療や言語発達の機関とは連携がとれていない気がする。	現在は医療的ケアを要する児童は在籍していないが、必要に応じて連携して行きます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9		無回答1	現在は医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、必要な場合は連絡体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			引き続き、情報共有を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			移行支援シートなどの情報を共有を引き続き取り組んで行く。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10		島外での連携は最近感じるが、島内ではかなりうすいと思う。	療育相談や発達育クリニックを通して連携を行っていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	2	地域の方との交流があったと聞いたことはあるが…。園の職員とは「困りごと体験」を通しての交流がある。	普段から利用児童は、学校に通学しているため、特段必要がないと考えているが、必要に応じて取り組んで行く。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	2		法人として参加しており、引き続き、情報提供を行っていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		保護者から聞ける機会は少ないが、職員からの発信は意識してできている。	連絡ノートに加えて、インターネットを利用した双方向のやり取りを引き続き行っています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10			引き続き、保護者面談時に保護者支援を行うとともに、計画的にペアトレに取り組んで行きます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			引き続き、保護者が理解できるように説明を行っていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			計画作成時には、家庭や学校での様子を保護者から確認して、評価結果を踏まえて、支援内容を決定して、説明を行っている。引き続き、保護者の同意を確認しながら支援に取り組んで行きます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			引き続き、相談があった場合は、適時対応していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	6	コロナの関係もあってか父母会はしていない。コロナ禍のためできていなかったが様子を見て再開していきたい。	社会的状況を確認しながら、実施に向けて検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		無回答1	引き続き、苦情があった場合は、適切に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			ホームページやLINEofficialを通じて、情報発信を行います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			引き続き、マニュアルの改訂や職員教育に取り組み、個人情報に関する取扱いには注意していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			引き続き、スムーズな意思疎通が行えるように取り組んで行きます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4	無回答 1 コロナでできていない	社会的状況を確認しながら、実施に向けて検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10		引き続き、職員に対しては入職時に各マニュアル説明を行い、職員会議を通して改定を行います。また、保護者に対しては契約時にマニュアルについて説明を行います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		引き続き、消防署の協力をもらいながら、定期的な訓練を行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10		引き続き、医師の指示に基づいた対応と、訓練に取り組んでいきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		引き続き、医師の指示に基づいた対応と、訓練に取り組んでいきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	無回答1	引き続き、リスク管理に組織的に取り組んでいきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		引き続き、マニュアルの改定や研修を通じて、虐待防止に取り組んでいきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10		引き続き、マニュアルの改定や研修を通じて、身体拘束防止に取り組み、必要に応じて対応を行っていきます。

